

番号	8
----	---

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	2年
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名	2組
ねらい		・学習に向かう気持ちを養い、一定時間集中して課題に取り組む。 ・手指を操作する力や、目と手を協応する力を身に付ける。 ・教員とのやりとりの学習を通して、指示に応じる力や要求・依頼・報告などを伝える力を付ける。			
担当教員		○中西 萌香 町田 勉			
年間授業時数		113.4／228.4			
使用教科書		東京書籍 こくご☆ 教育出版 さんすう☆			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	よく見て手を使おう 言葉や数を知ろう 先生に伝えよう		・手指の操作に関わる活動 「棒さし」「玉入れ」など ・認知に関わる活動 「弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」など	・20分程度着席し、自分から課題に取り組むことができる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・指先を使って物を操作することができる。 ・色や形を見分けることができる。	・児童が興味・関心のある教材をバランスよく取り入れる。 ・間違えずにできる自立課題を中心に用意をする。
5 6 7	よく見て手を使おう 言葉や数を知ろう 先生に伝えよう		・手指の操作に関わる活動 「棒さし」「玉入れ」「シールはり」など ・認知に関わる活動 「分類・弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」「仲間集め」など ・言葉につながる課題 ・数につながる課題	・手指の巧緻性を高める。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。	・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用するようにする。 ・フィニッシュボックスなどを活用し、児童が一人で取り組めるようワークシステムを整える。 ・報告や依頼を徹底できるようにし、教員と一緒に取り組むチャレンジ課題を取り入れる。
9 10 11 12	よく見て手を使おう 言葉や数を知ろう 先生に伝えよう 本を選ぼう		・手指の操作に関わる活動 「棒さし」「玉入れ」「シールはり」など ・認知に関わる活動 「分類・弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」「仲間集め」など ・概念に関わる課題 「マトリックス」「大きさ・多少」 ・言葉につながる課題 ・数につながる課題 ・図書	・ものをよく見て、見分けたり操作したりする。 ・目と手を協応させ、簡単な線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を操作し、1～5程度の数量が分かる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じることができる。 ・言葉や身振りなどで報告などを伝えることができる。 ・本を選んだり、友達などに紹介したりすることができる。	・年間を通して、活動の内容は大きく変えず、児童が見通しをもって活動できるようにする。 ・指先を使う教材を用意し、手指の巧緻性を高める。 ・具体物の操作を行う中で、量概念を育てる。 ・筆記用具は、太さや長ささに配慮する。
1 2 3	よく見て手を使おう 書いてみよう 数えてみよう 先生に伝えよう	○	・認知に関わる活動 「分類・弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」「仲間あつめ」など ・概念に関わる課題 「マトリックス」「大きさ・多少」 ・言葉につながる課題 ・文字につながる課題 ・数につながる課題	・大小、多少、長短などについて知る。 ・目と手を協応させ、簡単な線や記号、文字を書くことができる。 ・示された物の数量が分かる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・言葉や身振りなどで要求・依頼・報告などを伝えることができる。	・楽しい雰囲気ですり取りできるようにする。 ・最後に励みとなる課題を用意する。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	2年
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名	3組
ねらい		・学習に向かう気持ちを養い、一定時間集中して課題に取り組む。 ・手指を操作する力や、目と手を協応する力を身に付ける。 ・教員とのやりとりの学習をとおして、指示に応じる力や要求・依頼・報告などを伝える力を付ける。			
担当教員		○村野 裕奈 高山 弥晏			
予定授業時数		113.4／228.4			
使用教科書		東京図書 こくご☆ 教育出版 さんすう☆			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	よく見て手を使おう 言葉や数を知ろう 先生に伝えよう		・手指の操作に関わる活動 「棒さし」「玉入れ」など ・認知に関わる活動 「弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」など	・20分程度着席し、自分から課題に取り組むことができる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・指先を使って物を操作することができる。 ・色や形を見分けることができる。	・児童が興味・関心のある教材をバランスよく取り入れる。 ・間違えずにできる自立課題を中心に用意をする。
5 6 7	よく見て手を使おう 言葉や数を知ろう 先生に伝えよう		・手指の操作に関わる活動 「棒さし」「玉入れ」「シールはり」「ひも通し」など ・認知に関わる活動 「分類・弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」「仲間集め」など ・言葉につながる課題 ・数につながる課題	・手指の巧緻性を高める。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。	・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用するようにする。 ・フィニッシュボックスなどを活用し、児童が一人で取り組めるようワークシステムを整える。 ・報告や依頼を徹底できるようにし、教員と一緒に取り組むチャレンジ課題を取り入れる。
9 10 11 12	9月:本を選ぼう(図書) よく見て手を使おう 言葉や数を知ろう 先生に伝えよう		・本を選んだり、読んだりする活動 ・手指の操作に関わる活動 「棒さし」「玉入れ」「シールはり」「ひも通し」など ・認知に関わる活動 「分類・弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」「仲間集め」など ・概念に関わる課題 「マトリックス」「大きさ・多少」 ・言葉につながる課題	・好きな本を選んで紹介することができる。 ・ものをよく見て、見分けたり操作したりする。 ・目と手を協応させ、簡単な線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を操作し、1～5程度の数量が分かる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じることができる。 ・言葉や身振りなどで報告することができる。	・年間をとおして、活動の内容は大きく変えず、児童が見通しをもって活動できるようにする。 ・指先を使う教材を用意し、手指の巧緻性を高める。 ・具体物を操作を行う中で、量概念を育てる。
1 2 3	よく見て手を使おう 書いてみよう 数えてみよう 先生や友達に伝えよう	○	・認知に関わる活動 「分類・弁別」「マッチング」「型はめ」「パズル」「仲間あつめ」など ・概念に関わる課題 「マトリックス」「大きさ・多少」 ・言葉につながる課題 ・文字につながる課題 ・数につながる課題	・大小、多少、長短などについて知る。 ・目と手を協応させ、簡単な線や記号、文字を書くことができる。 ・示された物の数量が分かる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・言葉や身振りなどで要求・依頼・報告などを伝えることができる。	・楽しい雰囲気できやり取りできるようにする。 ・最後に励みとなる課題を用意する。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	2年
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名	4組
ねらい		・文字や数など、基礎的な学習の力を身に付ける。 ・目と手を協応させたり、手指を動かしたりして操作し、弁別や、分類をすることができる。 ・「できました。」「手伝ってください。」など、教員に報告や依頼ができる。			
担当教員		藤田 希			
予定授業時数		113.4/228.4			
使用教科書		こくご☆ さんすう☆			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・話そう ・文字に触れよう ・鉛筆を使ってみよう ・ことばをふやそう ・数を数えよう ・よく見て手を動かそう	○	・発声・発語につながる課題「お口の体操」「吹く遊び」 ・文字につながる課題「平仮名のマッピング」や「ロゴ文字」の見分け、「単語の構成」など ・運筆の基礎となる学習「点つなぎ」、「なぞり書き」 ・言葉につながる課題「しりとり」「反対ことば」など ・数につながる課題「順序」「数量の理解」など ・手指で操作する課題「クリップ」「バックル」など	・一字一音の仕組みに気付く。 ・平仮名を見分けたり、単語を構成したりすることができる。 ・筆記具を正しく持って書くことに慣れる。 ・目と手を協応させ、簡単な線や記号、文字を始点と終点を意識して書くことができる。 ・身近なことばの概念について触れ、理解することができる。 ・手指の巧緻性を高める。	・児童の実態に応じた課題を提示する。 ・身近な物や興味、関心がある物の単語で構成する。 ・正しい持ち方ができるよう、持つ場所にシールを貼ったり、補助具を使用したりする。 ・線の始点と終点を意識できるよう、印をつける。 ・語頭音などで促す。 ・興味のあるものを題材にする。
9 10 11 12	・身近な文字表記を読もう ・仲間をあつめよう ・数を数え、数字を書いてみよう ・よく見て、指先を動かそう ・先生に伝えよう ・図書室へ行こう(9月)	○	・文字につながる課題「自分の名前」「曜日」「授業名」 ・数につながる課題「日付」「順番」「何人」「何個」 ・概念につながる課題「用途」「近接」など ・手指で操作する課題 ・作業につながる課題「ファスナー」「スナップボタン」など ・報告、依頼につながる課題「できました」「てつだってください」 ・図書室で本を選んだり読んだりする。	・読める文字を増やす。 ・自分の名前を言ったり、自分の文字を見分けたりできるようになる。 ・日付を読むことができる。 ・人や物を正しく数えることができる。 ・手指の巧緻性を高める。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・自分の好きな本を見付ける。 ・図書室の利用方法や、マナーを身に付ける。 ・本の好きなところを選んで、紹介することができる。	・児童の実態に応じた課題を提示する。 ・自分の名前や授業名曜日など身近な物や興味がある物の単語で、少しずつレベルを上げていく。 ・なぞり書きのプリントを用意したり、GIGA端末を活用したりする。 ・指さししながら数えるように手本をみせ、徐々に支援を減らしていく。 ・日常生活動作の向上をねらいとした教材を用意する。 ・本を戻す場所に名前カードを入れるなど、出したところへ戻せるようにする。
1 2 3	・文を読もう ・数を数え、書いてみよう ・よく見て手を動かそう ・先生に伝えよう	○	・動詞や名詞の学習 ・書字課題「位置把握」 ・数を数えたり、等分に分けたりする。 ・手指で操作する課題 ・作業に関する課題「パッキング」「フェルト通し」など ・認知につながる課題	・手指の巧緻性を高める。 ・数を正しく数えたり、分配することができる。 ・物の名前や属性について知ることができる ・点結びやマスの中の始点や終点の位置を理解する。	・児童の実態に応じた課題を提示する。 ・指さししながら一緒に数を数えたり、具体物を操作したりする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	2年
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名	5組
ねらい		・学習に向かう気持ちを養い、一定時間集中して課題に取り組む。 ・手指を操作する力や、目と手を協応する力を身に着ける ・教員とのやりとりの学習を通して、指示に応じる力や要求・依頼・報告などを伝える力を付ける。			
担当教員		○深野 美咲季 伊藤 杏子			
予定授業時数		113.4/228.4			
使用教科書		東京書籍 こくご☆ 教育出版 さんすう☆			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・よく見て手を動かそう ・数を数えよう ・鉛筆を使ってみよう ・文字を読もう		・手指で操作する課題に取り組む。 ・平仮名のマッチングや1～3音の単語の構成をする。 ・運筆の基礎となる学習(線結び、なぞり書き)をする。 ・カレンダー、曜日、季節の学習をする。 ・色や形が同じものを見付け、仲間分けを行う。	・手指の巧緻性を高める。 ・平仮名を見分けたり、単語を構成したりすることができる。 ・筆記具を正しく持つて書くことに慣れる。 ・始点と終点を意識して線を引くことができる。 ・身近な数概念や上位概念について触れ、理解することができる。 ・物をよく見て、同じ物同士を集める。	・児童の実態に応じた課題を提示する。 ・身近な物や興味、関心がある物の単語で構成する。 ・正しい持ち方ができるように、持つ場所にシールを貼ったり、補助具を使用したりする。 ・線の始点と終点を意識できるように、印をつける。 ・興味のあるものを題材にする。
9 10 11 12	・よく見て手を動かそう ・数を数え、書いてみよう ・言葉を知ろう ・先生に伝えよう ・図書室へ行こう		・手指で操作する課題に取り組む。 ・平仮名のマッチングや2～5音の単語の構成をする。 ・自分の名前の練習をする。 ・数を数えたり、数字を書いたりする。 ・カテゴリー分けや、意味を考えて弁別する。 ・「できました」や「教えてください」を言う。 ・図書室で本を見たり、読んだりする。	・手指の巧緻性を高める。 ・読める平仮名を増やす。 ・自分の名前を読んだり、書いたりすることができる。 ・数を正しく数えることができる。 ・いろいろな物の名称や、どんな物かを知ることができる。 ・正しい言葉で報告などを行うことができる。 ・自分の好きな本を見つける。 ・図書室の利用方法やマナーを身に付ける。	・児童の実態に応じた課題を提示する。 ・身近な物や興味がある物の単語で、少しずつレベルを上げていく。 ・なぞり書きのプリントを用意したり、GIGA端末を活用したりする。 ・指さしながら数えるように手本を見せ、徐々に支援を減らしていく。 ・身近な物を題材とする。 ・語頭音などで促す。 ・本を戻す場所に目印を付けるなど、出したところへ戻せるようにする。
1 2 3	・よく見て手を動かそう ・数を数え、書いてみよう ・文字を読もう、書いてみよう ・先生に伝えよう		・手指で操作する課題に取り組む。 ・数を数えたり、数字と数に対応させる学習に取り組んだりする。 ・動詞や名詞の学習に取り組む。 ・鉛筆を正しく持ち、自分の名前を練習する。 ・「できました」や「教えてください」を言う。	・手指の巧緻性を高める。 ・数を正しく数える。 ・語彙を増やす。 ・自分の名前を読んだり、書けるようにしたりする。 ・正しい言葉で報告などを行うことができる。	・児童の実態に応じた課題を提示する。 ・指さしながら一緒に数を数えたり、具体物を提示したりする。 ・カードや写真を使い分かりやすいように提示する。 ・なぞり書きのプリントを用意したり、GIGA端末を活用したりする。 ・語頭音などで促す。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。